

平成19年度の大学運営上の重点取り組み分野

(年度計画のダイジェスト版)

【国立大学法人 滋賀医科大学】

大学の基本的な目標

滋賀県は、現在、人口の増加率が非常に高い県であり、「近い将来には、高齢化率が一番低い県(一番若い県)になる」と予想されている。このように増え続ける県民に対して、福祉や安心・安全な医療を提供すること及び住民のニーズにあった医学情報提供の場を設けることは重要な課題である。

また、滋賀県は中央に琵琶湖があるために、結果として環状になっている細長い県といえる。このため地域間のコミュニケーションが比較的とりにくく、医療機関や医療情報のネットワーク構築が求められている。

滋賀医科大学としては、このような地域の特徴を考慮しつつ、独自の新しい医学・看護学の教育・研究を推進するとともに、その成果を滋賀の地から国内はもとより世界に発信し、医学・看護学の発展に貢献すること及び高度な医療を提供することによって、人々の福祉の向上に寄与することを目標とする。

これらの目標を達成するために、構成員の「競争(個性化)」と「協調(和)」を軸にして、組織運営にあたる。また、教育・研究・医療の一層の充実と基盤強化の観点から近隣の大学との再編・統合を検討する。



平成19年度重点分野【教育1 / 2】

● 学士教育

□ 一般市民参加型教育プロジェクトの実施

- 病気を持った人に適切に対応できる医療人(全人的医療)を育成するため、昨年度に引き続き、患者訪問実習・面接医療実習等、一般市民参加型の教育プロジェクトを実施

□ 教養教育の充実

- 医学科と看護学科の合同授業を拡大
- 自然科学系の大部分と人文社会学系の一部の科目を必修化(医学科)
- TOEFL検定による英語能力の客観的な評価を実施
(医学科:第3学年、看護学科:第1学年)

□ 国家試験合格率に目標値を設定

- 医師国家試験においては95%以上、看護師国家試験においては98%以上及び保健師国家試験は95%以上の合格率を目指す

● 大学院教育

□ 学生の教育システムの改善

- 社会人及び外国人入学者の増加に対応するため、夜間や休日開講、英語による授業を充実

□ 大学院教育の実質化に向けた取り組み

- 学内教育研究施設(実験実習支援センターなど)と連携しての実習を充実
- 福祉・実験倫理教育の実施と動物実験資格試験を義務付け



平成19年度重点分野【教育2 / 2】

● 一般市民参加型教育プロジェクトの実施体制

一般市民直接参加型の3つの医学教育プロジェクトを実施

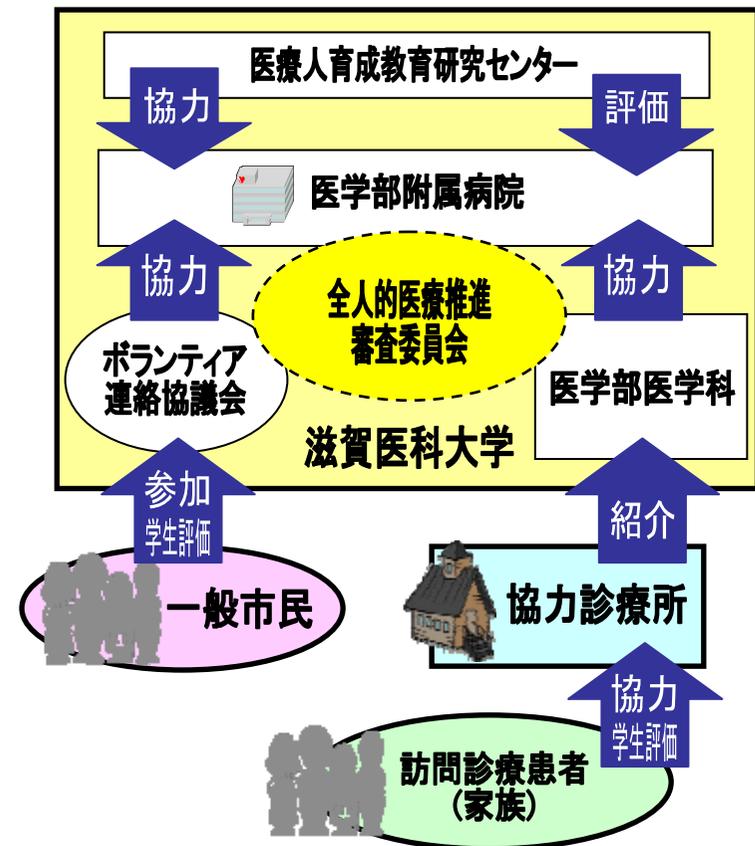
- A) 6年間一貫患者訪問実習
- B) 全学年一般市民参加型面接医療実習
- C) 全人的医療・学年縦断グループ能動学習と市民・学生参加シンポジウム



患者訪問実習



全人的医療を考える市民・学生参加シンポジウム





平成19年度重点分野【研究1 / 2】

● 5つの重点研究プロジェクトを推進

1. サルを用いた医学研究	<ul style="list-style-type: none">●サルを用いた感染防御研究（P3実験室の稼働） 【文部科学省 人獣共通感染症基礎研究連携事業】●サルの体細胞核移植技術の開発とアルツハイマー病モデルサル作成への挑戦 【科学研究費補助金 萌芽研究】
2. 核磁気共鳴(MR)医学研究	<ul style="list-style-type: none">●MR・光標識分子素材の開発 【科学技術振興機構 さきがけ研究】●動物モデルを用いた分子イメージング解析 【科学研究費補助金 基盤S】
3. 生活習慣病医学	<ul style="list-style-type: none">●疾病予防のための大規模コホート研究 【厚生労働科学研究費補助金 健康科学総合研究】●動脈硬化症に関する疫学研究 【科学研究費補助金 基盤研究A、GSK受託研究費】
4. 地域医療支援研究	<ul style="list-style-type: none">●滋賀県と近隣大学による各種障害者についての理解促進と障害者支援に関する研究事業の推進
5. 神経難病研究	<ul style="list-style-type: none">●アルツハイマー病のMR画像診断薬の開発 【科学技術振興機構 育成研究】●アルツハイマー病の治療薬開発のための基盤研究 【(独)医業基盤研究所 基盤研究事業】



平成19年度重点分野【研究2 / 2】

- 滋賀医大の特色となりうる次世代研究プロジェクトの推進と若手研究者の研究支援

次世代研究プロジェクト

睡眠学講座を
中核にした「眠りの森」
研究プロジェクト

医用ロボットの開発
(都市エリア発展型事業)
マイクロ波手術機器開発
(大学発ベンチャー事業)

マイクロ波を用いた手術支援機器



ゼロエミッション



ゼロエミッション・プロジェクト
(新規産業創造 技術開発費)

若手研究者の研究

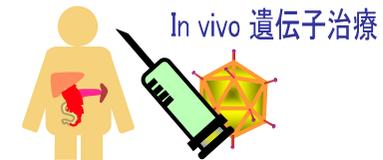
新規の癌抑制因子研究
(科研費 特定領域)

光、磁気応答性
ナノダイヤモンド



nano粒子の医学への応用
(NEDO)

糖尿病遺伝子治療
(科研費 基盤B)





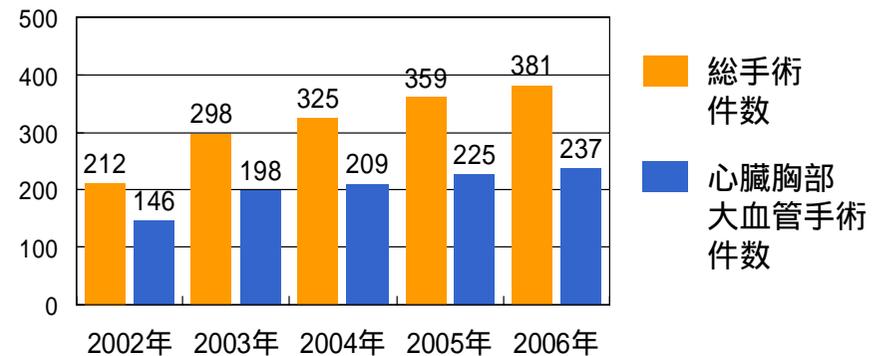
平成19年度重点分野【診療1 / 2】

● 高度専門的心臓血管診療の推進

- 心不全の集約的治療
- 心臓血管カテーテル法を用いた冠動脈疾患治療、不整脈の最先端医療の推進
- 高度専門心臓血管手術(心拍動下冠動脈手術)の推進
- “No refusal policy”の徹底



心臓血管外科手術件数



● 生活習慣病に関する質の高い医療の提供

- 生活習慣病診療センターにおける生活習慣介入外来の推進(栄養、運動、ストレス、禁煙管理)
- 全身動脈硬化症のスクリーニングシステムの導入による早期診断と発症予防



平成19年度重点分野【診療2 / 2】

● 地域医療への貢献

- 行政(滋賀県)と協力し、地域医療への貢献に向けた小児・産科医療の充実を目指す。
- 地域中核病院としてがん診療の拠点化に向けた診療体制を充実する。

● 病院再開発【目指す医療への実現へ向けて】

- 新病棟(D棟)を建設し、診療科の枠を超えた医療の推進、臓器別・疾患別病棟への移行など、より一層の機能集約化を進めるとともに、患者さまのアメニティの向上を目指す。
- 急速な手術件数の増加に対応するため、新手術棟の増設を検討し、手術機能の向上を図る。

新病棟(D棟)完成予想図





平成19年度重点分野【業務運営1 / 1】

● 経営に関する取り組み

- コスト構造改革を実施し効率化を目指すことで、余剰資金を創出する。その資金を活用し、一部は収入増の取り組みとしてパイロット的に実施していく。
- 節減対策ワーキンググループ(学生も含む全学組織)が昨年度から実施している「もったいない見回り隊」による節水及び節電等の意識を浸透させる具体的な施策(学内巡視等)を展開し、全事業費に占める光熱費の比率を年間1%以上削減する。

● 管理運営に関する取り組み

- 安全で安心なキャンパス環境の整備を推進する。
- 法人化後の各事業等の取組状況等の総括(中間評価)を行い、改善すべき点等を洗い出し、次期中期目標期間にむけて大学として進むべきビジョン等の策定作業に着手する。

